夕刊
磐城新聞
三月一日發行
定價（郵稅共）一ケ月金六拾錢　一部金五錢
廣告料金（特殊欄）金九拾錢（特殊欄）金六拾錢（特殊欄）五段十二字詰一行一圓（特殊欄）一行一圓
發行所　磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

九々いらず珠算に就て

吉田松雄

二十五

商の立て不足の場合

例一

3196÷47＝68

計算法（實三一九六、法四七）

一、實三一と法四七を見合せ五を立てゝ法四と商五を掛け合せ4×5＝20を引く

バン面五一一九六

次に法七と商五を掛け合せ7×5＝35を引く

バン面五〇八四六

次に見合せる實八四と法四七、是れは前回商の立てた桁に立てる樣になる（前回は實少い故に直く上に商を立て、今回は實多き故に一桁飛んで商を立てる、依つて前回の商と今回の商の立て場は同じである）是れ商の立て不足である六を立つべき所に五を立てたのである立て不足した商一を追加して立てる商五に一を加へ六として追加した一と法にも掛け合せ4×1＝4を引く

バン面五〇四四六

次に法七と追加した一を掛け合せ7×1＝7を引く

盤面五〇三七六となる

二、實三七と法四七を見合せ七を立てゝ4×7＝28を引く

盤面五〇九六となる

次に法七と商七を掛け合せ7×7＝49を引く

盤面五七〇四七となる

再た商の立て不足であるから商一を追加して法四と追加した一を掛け合せ4×1＝4を引く

次に法七と追加した商一を掛け合せ7×1＝7を引く

バン面六八、即ち答である

例題二

3792÷48＝　4984÷56＝
3808÷68＝　4772÷84＝
2479÷87＝　7644÷98＝
7644÷78＝　6336÷72＝

三四五六七八九となる、此の割算に迅速に商を立てる樣になれば十分である、方法を知つても練習不足は實務に當つて誤の基であるから良く練習すること

2222222202÷18＝123456789
3333333303÷27＝123456789
4444444404÷36＝123456789
5555555505÷45＝123456789
6666666606÷54＝123456789
7777777707÷63＝123456789
8888888808÷72＝123456788
9999999909÷81＝123459789

三桁割茱本練習表

左の割算の商は全部一二三

42214÷86＝　35568÷36＝
77322÷98＝　9843÷17＝
13608÷28＝　31365÷45＝
21964÷76＝

二、うらゝかなるは、春の

789
12222222111÷99＝12345679
789

忍び寄る春

萩原たけ

○朝ばらけかがやう雲のたゞずまいそこはかとなく春忍びよる

○仔人住む水晶宮の霜柱うちにこもるや春のいきづき

○凍り道往交ふ人のけはいにもゆとりこもらふ春なごみかも

○大瓜のうなり長閑になりにけり空のはたてぞやゝ薄がすむ

○天地に光あまねし向つ嶺の杉の穂むらに春をまねぐる

平和

逸名女

日よ
我れは、たんぼにくわを取る
あゝ平和なる此の村よ、我れの心ものどかなる

二、思ひ出深き學校よ
華やかなりしあの時代
今はたんぼにくわを持つ
あゝ平和なる此の村よ

三、今は日本の非常時よ
平和を愛す日本人
夕日の落つる滿洲に
夜も休まず刀を取る
あゝ尊きは此の犧牲

童會座談會

昭和九年二月四日
どん栗發行所

出席者　千葉省三、島田忠夫、加藤欽也、山口正夫、原田小太郎、勢ゞ信義

（2）

千葉　はあ、大へんな役を引受けたゾ（笑聲）さてどんな繪がよいものかな

島田　こちらから、書材を決めては其だ失禮のやうですが、越後から信州あたりの、農家の繪が欲しいですね。カットも是非お願ひしたい。これは農具とか、蓑笠と云つたやうなもの

千葉　御氣嫌の好い時、口をきつて頼みませう（一同笑聲）

加藤　作品は？

島田　童話は、千葉先生にお願ひしました。その他酒井朝彦、伊藤貴磨、高瀬嘉男氏等にお願ひします。十和田耕平氏は御病身であられるので、とても頂けないと思ふが、とに角お願ひします

山口　童謠詩の方は毎號同人が皆發表できますね

加藤　發表前に、必ず島田先生に見て頂くことにしやう

勢ゞ『どん栗』の同人たちの作品は、段々に他の雜誌などへ、推薦して貰へますか

加藤　どういふ雜誌ですか

島田　兒童雜誌でせう、つまり原稿料の貰へる、さうですね

島田　それは因ります。僕達の目的は立派な作品、傑れた作品を作るやうに刻苦精進するのであつて有名になつたり、金にしたりする目的はない、猶ろ反對だ

勢ゞ立派な作品、傑れた作品でも、一般的な大雜誌に發表しなければ一般大衆が讀まない、又認めて呉れないでせう

加藤　外に、何か原稿を寄せませうか、同人ので好い、傑れた作品を作るべく吾々は鍛練して行けばよい。そして默つて秀作、傑作を生んで行けば讀者の方が探し出して讀むやうにもならう。目的は吾々が立派な藝術を作る人間になることだから認められる事から考へて出發しなくとも、一向關はない訣だ

千葉　隨筆などおもしろい

島田、そんな事はどうでも決めて、とにかく、傑れた作品を作る人が皆發表できますね

加藤　發表前に、必ず島田先生に見て頂くことにしやう

勢ゞ立派な作品、傑れた作品でも、一般的な大雜誌に發表しなければ一般大衆が讀まない、又認めて呉れないでせう

加藤　外に、何か原稿を寄せませうか、同人ので

島田　童話は、千葉先生にお願ひしました。その他酒井朝彦、伊藤貴磨、高瀬嘉男氏等にお願ひします。十和田耕平氏は御病身

千葉　御氣嫌の好い時、口をきつて頼みませう（一同笑聲）

加藤　作品は？

島田　童話は、千葉先生にお願ひしました。その他酒井朝彦、伊藤貴磨、高瀬嘉男氏等にお願ひします。十和田耕平氏は御病身

千葉　はあ、大へんな役を引受けたゾ（笑聲）さてどんな繪がよいものかな

島田　こちらから、書材を決めては其だ失禮のやう

社會の今日

○水がめの桃ひらきけり　宵節句　眞也

新芽ふく庭の木ずゑの明るくて雨あたゝかきあしたなるかも　村野次郎

新刊紹介

眞道（創刊號）中村月城氏、主宰今一日發行（宣言）中村月城（苦難の克服）同（詩三篇）長谷部俊一郎（短歌溫泉行）高久晩霞（我が魂を懷く）萩原たけ子（眞の道に）明智忠作（兒童の衛生智識に就て）醫學博士諸橋鐵彌（食物の話）醫學士大森勇（おとゝ、ひとり悅にいつて、猪口をつまんだ

『ふん、惡かねえや』

子樣方の喜ぶお辨當のおかず）門傳祈美子（大和民族と基督教）中村月城（保育雜感）中村りゆ等、二十頁の小冊子乍ら內容豐富、今後地方色の濃厚なる記事を滿載續刊すると（一部金十錢、平町十五丁目二六其社）

講談　浪人長屋

日岐武志作
月草道子畫

（26）

妬心

男はほう〳〵の體でかへつた

大粒小粒をとりませてざつと五十兩

『てへしたもんだ。』

甚吉はにやにやしながら財布の紐をくるくる卷きにして、壘の上においた。すつと、身をゆるしてしまつたんぢやねえかナ

たもんだ。お鈴大明神さまへ持つていつたお鈴は、あをざめて、顏をあげなかつた

それが、却て甚吉の妬心をふかめるばかりだ

——どうして、くりヨうか

ぎらぎらと、いつも怒る時の眼が、かゞやきはじめた

ふッと、お鈴の姿が、かの小花の姿に變つた

女、女、女、女……

——お鈴も、小花とおなじやうに、女だ、女だ……

男をだます女だ……

……畜生ッ……

——おまけに、たつた今男を目の前でだましたばかりだ……

ぐらぐらぐらッと女を呪ふ、いつもの惡鬼が躰中をのたうちまはりはじめた

——ようし……

甚吉は、お鈴の胸のあたりをぐッと燒きつゞやうににらんだ

『お鈴ッ』

と、どなつて、ぐいと杯を、お鈴の前へつき出した

『飲め』

お鈴は顏をあげたが急に變つた甚吉のものすごい形相を見ると、はつとした頭へ手をやつて

『飲めないんですよ、頭が痛くて……』

『え、どうでも飲めッ』

眼がお鈴の顏にやきついた

た鈴は頭を左右に振つて

『飲めないものを、なにも無理に飲ませなくつたつていゝぢやないの』

『どうでも、てめえ飲まねねッてんだナ』

語氣が、するどく、ひゞいた

『まあ、そんなに、おこらなくたつて……』

と、お鈴がいひ終らぬうちに

『飲めねえだらうッ、この賣女めッ！』

といふやいなや手にしてゐた猪口を、お銀の顏を目がけてはッしと投げつけた

ふと、さう思ふとむらむらッと、燃えさかるやうな……畜生ッ……

甚吉は、ぢろッ、ぢろッとお鈴の方をねすみ見ながら、猪口をつゞけざまに口

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

廣告

生徒募集

◉ミシン裁縫、裁斷、教授
女性の一生を保護する趣味的職業として洋裁を知らねば恥の時代となりました
磐城女子洋裁專門學院
●本校獨特の實際に役立つ斬新裁斷法
●實力主義で氣安く習へる個人的教授
●ミシン使用無料・材料貸與。
平町白銀町廿五番地
（詳細學則郵券二錢）

魂の這入つた
自轉車とリヤカー
フタバ式リヤカー發賣元
フタバ商會
平。新川町。月見橋際

鼻病、腦病
化學治療藥
ビノサン
小一壹圓弐拾錢、中一弐圓、大一五圓
苦腦症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用藥で手輕に僅かな費用で治療の出來るビノサンが發表されました
今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい
御來店の方に鼻病說明書無代進呈
福島縣平町白銀町五（千代メッキ店裏）
石城郡特約店　村山書店
販賣御希望の方特に御相談に應ず。

募集（本科五十名、師範科三十名、技藝高等科五十名、專攻科二十名、技藝普通科五十名、專修科五十名）
人員
文部大臣認可
附設　平陽家政女學校
平陽女學校
福島縣平町
電話四四五番
○入學願書提出三月三十一日迄、願書到着順ニ入學ヲ許ス○月謝低廉寄宿舍ノ便アリ○食費一日三十錢內外デアリマス

舊正十五日より八日間
毎日晝夜開演
平館
舊正月
十五日より　磐城座
十六日より　海盛座
十八日より　綴劇場
二十日より　豐盛座
掛持出張上映日割…

東京日々新聞、讀賣新聞連載
林不忘原作・伊藤大輔監督
大河內傳次郎一生一代の超大作……
オール
トーキー
丹下左膳
第一篇
十三卷

學校卒業賞品特賣
各學年卒修業期が近づきました。
各種賞品類も全部揃致しました。
御仕入の絕好期。
卸賣特に御務め勉强致します。
最品賞品類
進物贈答品
恩賜賞與品
記念表彰品
各國產漆器
共
共榮漆器店
平町三丁目北裏通り
店員募集
本年尋卒　仕着　小使月二圓
同高小卒　仕着　小使月二圓
外交員十八九才より三十才迄

新車御披露
三十四年式デラックスセダン入車致しました。貸切の御用の節は是非御試乘を御願致します。
最新型セダン揃ひました
電話六四〇番
尼子タクシー

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）
藤田女學校前

『入院のお需めに應ず』
齒科
口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

銘木ト建築木材ノ御用命ハ今一番勉强スル當店ヘ
平町字紺屋町四〇
建築材一式
便利具材瓦
㐂織田材木商店
電話四六〇番
極優良材基將棋盤アリ格安讓リタシ。

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士山內亨吉
入院隨意
病室完備
（看護婦見習一名入用）
電話六九一番

產婆看護婦
生徒募集
平南町
平產婆看護婦學校
校長　清野キヨ子
電話三〇七番
△申込成るべく早く
△新學期開始四月八日より
△本業兩科通して一ケ年

有功章を授けらる
郡下の廿四篤志婦人
總裁東伏見宮妃殿下の台臨を仰ぎ
四月下旬福島で愛婦總會

郡下の愛國婦人會員小田秀子、小野しげ、志賀こと、藤居やい、桑原なか、酒井とみ、吉田たま、若松捷子、阿部こと大津賀うた、江口こう、馬目いち、有馬秀子、水山まさ、中村志滿、太しん、近藤やね、鈴木みわ平川すね、吉田まつ、大貫文子、吉田きみ、馬目のぶよ、木村はつの篤志婦人二十四名は愛國婦人會福島支部が總裁東伏見宮妃殿下の臺臨を仰ぎ四月下旬福島市に開く第三回支部總會に於て他の有資格者と共に總裁宮殿下より有功章御親授の光榮に浴するとの事である、之の催しに就き支部長畑山知事夫人以下役職員大童で新規會員二萬人募集中にあり既に申込一萬人を突破するの好成績を敢めてゐるがその開期は四月二十六、七日の頃を希望し成るべく農繁期の五月に入らぬよう總裁宮殿下の御都合を伺ひ奉つてゐる、出席會員八千名を超過するものと豫想し收容する會場がないから結局男子師範運動場に屋外會場を設置するの外なからうと觀

御紋章入り御菓子を賜はり午前九時から特別有資格者格者六十餘名へ晩餐を賜はる筈で、本縣としては第一回を明治三十八年九月、第二回を明治四十一年五月開催し、午後一時三十分から一般有資格者への拜謁後二時から殿下臨臨の下に總會を開き、午後三時から有功章者、畑山支部長以下支部役職員、市町村役職員、市内各官公署長その他約一千名を召されお茶の會を催しる

小川江工事順調
縣の補助金を待つて
尤月頃第二期着手

小川江筋第一期工事は舊臘竣工當時は人夫不足から少日の頃、毎日午前八時からは約二百五十名出動順調に進工中で遅くも今月二十日頃竣功するので三月末縣より技術員が出張し工事場及向後着工地域の踏査を行ひ縣補助金五萬圓の下附次第第二期工事に着工するが大体九月下旬頃であらうと子師範運動場に屋外會場を

全滿洲の喜びに
平町からも祝電
遙か聖壽の無窮を祈る

大滿洲帝國第一世皇帝登極の今一日に當り平町國防婦人會長平町長青沼鋒太郎氏は左記電報を宮内大臣沈瑞麟氏に送り遙か祝意を表した

御大典を奉祝し恭の無窮を祈り奉る　聖壽

右御執奏を請ふ

國防研究會長平町長　青沼鋒太郎

日滿國旗掲揚　平第一校では今一日の滿洲帝國誕生の日に當り日滿兩國旗を掲揚祝意を表した

郡町村長會　來る九日午前九時から役場會議室に開き七年度決算、縣總會の提出議案、招魂祭の打合せを行ふと

御賀宴に就て

正木校長謹話
光榮を全校に傳ふ

磐女校長正木貞二郎氏は一昨二十七日宮中の御宴に御召の光榮に浴したが今一日は右御模様に就いて晩餐後講堂に於て訓話をなした

産看試驗日割　本縣産婆試驗は來月五日學說、同月廿五日實地。看護婦試驗は明後三日午前十時から農

五割七分が合格
海軍兵志願試驗に
成績の良い石城っ子

三十三名中左の六名である赤津千町、米本恒久、石川喜義、大平幸男、松崎一美、（以上昨年卒業生）水野良雄（本年卒業生）尚ほ前記中赤津君は盛岡高

濱通りに於ける本年度海軍兵採用試驗は既報の如く去る二十七日より今一日まで平第三校講堂で執行されたが受驗者百七十四名縣下第一の多數で内郡内の分が百二十名あり合格者は一昨二十七日の十六名、昨二十八日の十三名で今一日は八名合計三十七名の町村別左の如し

泉	植田	三	三
志願	山田	三	三
採用	錦	三	二
六	勿來	四	一
二	上遠野	四	三
	平	四	一
	夏井	四	四
	豊間	一	一
	鹿島	五	一
	小名濱	五	一
	玉川	三	三
	内郷	六	六
	赤井	一	一

徵兵檢査日割決定
自五月十七日至同三十一日
平第一校講堂で

一、六間門二、杉平二、八幡小路七、大工町三、番匠町二

師範合格者
磐中關係の六名

本年縣男子師範學校の各部入試合格は昨廿八日發表になつたが二部應試磐中關係

青年訓練適齢者
全町に三百六十三名
役場調査の町別内譯

平町役場では過般來本年度青年訓練生適齢者の調査中であつたが此の程總數三百六十三名と決定した、内譯次の如し

新町二、長橋町九、研町五、古殿治町一三、紺屋町二二、田町二五、一丁目五、二丁目八、三丁目一二、四丁目一五、五丁目一〇、新川町一九、材木町五、堂の前六、南町一六、久保町七、胡摩澤一七、四軒町五、梅香町三、柳町五、鷹匠町七、仲間町一四、九品寺前一、鎌田町二一、上川原一、下川原一、立町一七、正月町二、彌宜町一三、月見町五、堤ノ内一、白銀町九、才槌小路一八、揚土二、北目町九、大町六、鍛治町三、十五丁目二、仲町二、舊城跡三、櫻町

牛乳搾取高
平町で四百六名

平町に於ける昨年中の牛乳搾取高（三千七頭）は四百六名、價格一萬三千八百四圓であると

第三校打合會　今一日午後三時半より三月中の行事について協議した

磐城さゞれ會練習　磐城さゞれ會は來る四日午後二時より鐵道倶樂部に於て佐野廠氏を迎へ練習をなすが曲目は次の如し

幼き日はなども
明後三日第三校で
嬉しい春の學藝會

平第三校學藝會は明後三日午前九時より開催するが父兄の參會を求め大々的に行ふべく練習準備中である、プログラム左の如し

第一部　開會の辭—諸橋富彌　1齊唱冬の夜（三ノ三全体）2兒童劇輕騎兵の人形（四女永島佳子外五名）3唱遊兎のダンス（三ノ一男子全体）4諸踊　那須與一（二ノ二吉田良次外二十六名）5唱遊お山のお猿（一ノ三安齊良子外四十名）6朗讀水兵の母（五女張文子外五名）7對話おちぞうさま（二ノ一諸根英祐外二十五名）8唱歌劇鬼の面（三ノ一男子全体）9唱歌梅に鶯（二ノ三全体）10兒童劇鎌倉攻（四男寺門武彦外二十名）11パーモニカ日の丸（一年有志）12諸踊記念の木（三ノ二全体）13手工『粘土細工』お面（五女高橋てる子外一名）14唱遊少年白虎隊（五男全体）15合唱冬の野（六女全体）16對話劇春が來た（一年有志）17席書　太平の春（二ノ三鈴木健三）18兒童劇桃太郎さん（一ノ三遠藤統雄外十名）19齊唱密柑船（六男全体）（休憩十分）

第二部　挨拶—赤津校長　1唱歌泉（四男全体）2兒童劇春の夢（三ノ三飯澤キヨ子外二十名）3對話劇　だんまり地藏さん（一ノ一本岡彌博外十名）4席書知過必改莫忘（四女高橋みち芳子）5唱歌劇三つの兎（三ノ一女子全体）6理科實驗酸とアルカリ（六男諸橋富彌）7遊戯月に浮れて（二ノ一三森孝子外十五名）8唱歌日本の少年日本の少女（三年有志）9遊戯鳥籠（五男師專攻科入學　平第一校大谷樹、小名濱校中根武（磐中三十回）の兩訓導は本年度縣男子師範專攻科に應試合格した

海軍兵志願つゞき　志願採用

渡邊	二	○
入遠野	四	○
川部	一	○
田人組合	四	○
高久	一	○
江名	一	○
磐崎	四	○
湯本	一〇	○
好間	一	○
永戸組合	三	○
澤渡組合	一	○
神谷	四	○
草野	九	○
窪	四	○
大浦	四	○

神谷青年繩織競技
團、同補習學校主催の繩織り競技會は明後三日午前十時から農試分場で行ふ

牛乳搾取高
平町で四百六名

平町に於ける昨年中の牛乳搾取高（三千七頭）は四百六名、價格一萬三千八百四圓であると

第三校打合會　今一日午後三時半より三月中の行事について協議した

さゞれ會練習　磐城さゞれ會は來る四日午後二時より鐵道倶樂部に於て佐野廠氏を迎へ練習をなすが曲目は次の如し

根本特務曹長埋骨
墜死した空の勇士
けふ故山の土に歸る

去る十五日薄暮飛行中機体四萬九千百二十圓、味噌（經費五九）は雇人高橋菫が去年四月中前後二回自宅店舗で五十嵐寅三郎から古鉋金數貫を買受け他に賣却しながら百貫を買受け他に賣却しながら、又湯本町大字湯本字小川三國八八古物商高橋由兵衛が去年四月頃から去年十一月にかけ前後約百回に亘り鐵田町古物商藤田善造より古鉋金約二百貫を買受け他に賣却した四倉町四日午後六時からマルトモポ割金二十圓に處された

川部農業研究經營座談會
郡下技術員が會同

川部村農會主催の養蠶業を主体とせる農業經營研究座談會は來る五日午前十時から小學校に開き繭價低落時に於ける合理的農蠶業の經營方案を確立する事になつた、出席者左の如し

農蠶業關係技術員、同農林技手、農會技術員、隣接町村農業技術員、製糸業者、同村内當業者

大佛供養、熊野、櫻川、小袖會我、山姥中會根氏轉任　豊間村回春院醫師中會根正平氏は此程若松警察署勤務を命せられ近く出發する

平驛發著貨物激增
舊正の關係が主因

百八圓五十三錢（五千三十九圓七十三錢）

御厩補習校講演會　内郷御厩校では明後三日午後七時より補習校講演會を催すが磐女山口敦論は「滿蒙の『情』と題する講演と幻燈寫をなすと

平驛發著貨物
舊正の關係が主因

百八圓五十三錢（五千三十九圓七十三錢）

御厩補習校講演會　内郷御厩校では明後三日午後七時より補習校講演會を催すが磐女山口敦論は「滿蒙の『情』と題する講演と幻燈寫をなすと

吸入用酸素　純度99%

特重度　モノサシ　マス　ハカリ

計量器　体温器　寒暖計

◎秤ノ取扱致シマス　◎緒・糸・重・修

開内商店　電話四〇番

磐城名物　霊峰羊羹　小川郷驛前　平屋賣店

平町田町　井坂醫院　電話五五九番

廣告

父庄作儀　永々病氣療養中の處本日午前三時半死去致候に付御通知申上候　追而二日午後二時自宅出棺ス寶寺に於て告別式相營申候　三月一日　平町八幡小路　男　和田三郎　親戚　寺島城作　總代　清水好正

父久保田六五郎儀　三月一日死去仕候に付生前辱知諸彦に謹告仕候　追て葬儀は來る三月三日午後一時自宅出棺九品寺に於て佛式相營み申可候　昭和九年三月一日　平町十五丁目三十番地　嗣子　久保田英雄　親戚　室田駒藏　總代　西森正生　友人　關内正一　平澤勝次郎　袖山傳治

白井博之儀二月七日死去仕候に付生前の御交誼を拜謝し謹告仕候　追て葬儀は來る二月四日午後一時鄉里福島縣石城郡上小川村自宅に於て佛式に依り相營み可申候　昭和九年二月廿八日　嗣子　白井一郎　親族　白井菊造　友人　島田俊雄　浅野總一郎　山崎與二郎　安島重三郎　金成通　佐藤庄太郎　鈴木辰三郎　總代